

学位論文題目一覧（平成 25 年度）

社会科学部（博士課程前期）法政システム専攻

平成 25 年度に社会科学部（博士課程前期）法政システム専攻を修了し、修士（法学又は、学術）の学位を取得した者は 29 名で、論文題目と分野は下記のとおりです。

- 1 日中防衛問題に関する研究（国交正常化から 2012 年まで）－日中両国の防衛交流を中心として－ 外交史
- 2 生産物責任の準拠法について 国際私法
- 3 ワシントン会議とそれ以後における日本外交－幣原喜重郎を中心に－ 外交史
- 4 中国における言論の自由と憲政－憲法問題を中心に－ 憲法
- 5 司法取引への被害者の関与 刑事政策
- 6 建築請負契約の研究－損害論を中心に－ 民法
- 7 日中における消費者法の比較研究 民法
- 8 いじめ現象のメカニズム－いじめ研究の現状－ 社会学
- 9 憲法・条約・条例からみる子どもの権利と社会 憲法
- 10 夏目漱石著小説「坊っちゃん」に登場する人物の犯罪行動についての考察－仮説「坊っちゃん」は犯罪者である－ 刑事政策
- 11 租税法における遡及適用の理論 租税法
- 12 内戦と安全保障理事会 国際法
- 13 日本における憲法訴訟の展開 憲法
- 14 状況証拠による事実認定－大阪母子殺害放火事件における心証形成論を中心として－ 刑事政策
- 15 過疎対策と政策手法－政策手法論による過疎対策研究の試み－ 行政学
- 16 国際的租税回避の否認理論－外国税額控除余裕枠利用事件を題材とした課税減免規定の解釈基準の検討－ 租税法
- 17 中国におけるネットポピュリズムのパワー－「楊佳の警官殺害事件」から考える－ 国際政治学
- 18 不当労働行為の認定基準－誠実団交を中心として－ 労働・社会保障法
- 19 21 世紀における日中外交関係について－安倍訪中を中心に－ 外交史
- 20 国際離婚と法 国際私法
- 21 日中航空協定交渉における日本外交政策の展開－台湾問題を中心に－ 外交史
- 22 権利濫用の要件と信義則との関係 民法
- 23 特許権侵害の準拠法について 国際私法
- 24 ODA を中心とする日本の対中援助政策 外交史
- 25 読書と階層に関する社会学的研究 法社会学
- 26 国際刑法における国家元首の責任又は訴追の余地－国際戦犯法廷と国際刑事裁判所における国家元首の個人責任の考察－ 刑事政策
- 27 不動産登記法改正と中間省略登記 民法
- 28 生存権とその司法的救済 憲法
- 29 現代日本政治におけるポピュリズムへの評価 行政学

社会科学部（博士課程後期）法政システム専攻

平成 25 年度に社会科学部（博士課程後期）法政システム専攻を修了し、博士（法学又は、学術）の学位を取得したのは 2 名で、論文題目と分野は下記のとおりです。

なお、論文博士の申請者はありませんでした。

- 1 国際著作権法の研究－国際特許法との対比において－ 国際私法
- 2 公共サービスにおけるホスピタリティ－J R 改革を事例に－ 社会学